

## 「小泉政治」の誤り正す

小沢代表にとり、今回が政権交代、2大政党制を実現させる最後のチャンスだ。失敗すれば、世論が盛り上がるのにまた5年はかかる。小沢氏の言葉には、その実感がこもっている。選挙区替えの話も「自ら犠牲になってでも」という決意の表れなのだ。

政権を獲得したら、民主党はマニフェストでの約束を着実に実行していく。まずは「政治主導」と「地方分権」を確立し、基礎となる国の姿を示すべきだ。市場経済は、能力ある人間が能力を十分発揮し、それが多くの人の幸せに結びつくものだが、小泉政治の結果、皆が幸せになるものでなくなった。誤りを正し、国民主役の政治を実現する。

国民の期待に背くようでは、民主党が2大政党制をつぶすことになり、責任は非常に重い。小沢氏は既に変わり始めているが、世間的、党内的には「独断専行」のイメージがある。指導者にはそういう面も必要だが、そのイメージを排除できればいいと思っている。